

2010年3月期第2四半期決算説明会Q&A（要旨）

Q：上期受注残（580億円、対前年同期－7億円）の内、下期売上貢献分の動向は。

A：下期売上貢献分だけを取り出すと、対前年同期は＋10億円程度となっている。

Q：下期は売上総利益率が悪化するが、その要因は。

A：コスト削減に努めるものの、受注環境が厳しいことから、受注マージンの悪化を織込んでいる。

Q：販管費は、上期から下期にかけ4億円増すが、目的は何か。

A：収益状況を見ながらではあるが、実装技術力強化、社内システム強化等、会社の構造改善のために使用したい。

Q：新日鉄向けの動向は。

A：今期は予定の水準で推移する見込みである。但し、新規案件を厳選していることから、来期以降の動向に注意が必要である。

Q：クラウド関連の売上額は。

A：昨年度売上の実績が約20億円。今年度は現在のところ昨年度を上回るペースで推移している。

Q：受注が対前年で回復するのはいつと見ているか。

A：依然として、不透明な状況を脱していない。

以 上